2021 年 12 月 2 日（木）

タグチアートコレクション デリバリー展 in 片品

実施報告書

2021 年 11 月 25 日（木）・26 日（金）

群馬県利根郡片品村

片品村立片品小学校・中学校

TAGUCHI ART COLLECTION

01 実施概要

02 主旨

03 費用

04 実施結果

05 実施詳細内容

06 実施風景

07 子供たちの感想

01 実施概要

【名称】 タグチアートコレクション　デリバリー展 in 片品
【日時】 2021 年 11 月 25 日（木） 11:40 ～ 16:00　片品中学校
2021 年 11 月 26 日（金） 10:30 ～ 14:30　片品小学校
【会場】 片品村立片品小学校・中学校　各学校多目的教室等
【内容】 小中学校に美術作品を持ち込み、１日のみの小展覧会を開催する。
【主催】 片品村教育委員会
【企画・運営】 一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所
【協力】 タグチアートコレクション / タグチ現代芸術基金
アート・オフィス・シオバラ

02 主旨

タグチアートコレクションの所蔵する美術品を活用して、子ども達に良質の現代美術作品を鑑賞する機会を提供する。

03 費用

片品村長 / 片品村教育委員会から業務委託費として 50 万円（税込）を受領。

経費合計		¥703,982
業務委託費	−	¥500,000
タグコレ負担経費		¥203,982

経費詳細	金額	備考
① 作品運搬費 東京⇄片品村	※ ¥208,000	学校間移動も含める
② 作品保険料	¥139,920	
③ スタッフ交通費	¥35,520	東京⇄上毛高原 3名分
④ スタッフ宿泊費	¥246,140	2泊3日 7名分
⑤ スタッフ昼食費	¥12,000	1日目 8名分 / 2日目 7名分
⑥ 雑費	¥62,402	消耗備品購入や倉庫間移動など
合計	¥703,982	

※①の金額は一般トラックの場合。美術品専用車の場合は異なる。
（作品保護の観点では美術品専用車が望ましい）

04 実施結果

開催日	学校	担当	校長	参加者	人数
2021年11月25日	片品中学校	佐々木 孝 教頭	星野 文隆	全校生徒	79
				一般	30
					109
2021年11月26日	片品小学校	林 誉隆 教頭	桑原 敏江	全校生徒	148
					148
				合計	257

05 実施詳細内容

● **片品中学校**　〒378-0415 群馬県利根郡片品村鎌田 4480
会場：1F 多目的室（11.8m×9.1m ）

● **片品小学校**　〒378-0415 群馬県利根郡片品村鎌田 3952
会場：教室 2F 尾瀬ルーム（13m×6m）

展示作品について

子供たちの年齢を考えて複雑すぎる作品は避け、パッと見てわかる作品と説明があるとより理解を深められる作品、様々なテーマや素材、技法などを取り扱った作品、10点を選定。

工夫点

展覧会の数日前に展示作品の画像を印刷したものを学校内に張り出してもらい、気になる作品に投票してもらう事前投票を行った。

ねらい ● あえて写真や画像で先に見せることで、頭のウォーミングアップとして興味と感心を持たせる。
また、「実際に作品を生でみること」の重要性を提示し、新しい発見や気づきから生まれる想像力を育む。

展示作品リスト

※

No.		タイトル	作家	制作年	技法	サイズ	基金
1		無題 5月３１日	キース・ヘリング Keith Haring	1989	アクリル/キャンバス	61.5 cm x 61.5 cm x 8.9 cm	○
2		リバー１	丸山直文	2003	アクリル/綿布	130.0 cm x 162.0 cm	○
3		告知-森 （ティファニー）	照屋勇賢	2009	紙袋、接着剤	10.0 cm x 20.5 cm x 21.5 cm	○
4		モナ・リザ（レオナルド・ダ・ヴィンチ）（「Verso(裏面)シリーズより」）	ヴィック・ムニーズ Vik Muniz	2010	Mixed media	101.5 cm x 77.5 cm x 9.0 cm	○
5		Dead Leaves & the Dirty Ground Ⅱ	リチャード・モス Richard Mosse	2011	デジタルCプリント	121.9 cm x 152.4 cm	○
6		Super Rat	チン↑ポム Chim↑Pom	2011	Video 2'28" 付属"Trophy(2014)" Stuffed rat(caught at Shibuya Center Street)H19×W15×D12cm	31.8 cm x 30.8 cm x 30.8 cm	○
7		Untitled (Priceless Arse)	ヤクブ・ジュリアン・ジオルコフスキ Jakub Julian Ziolkowski	2010	油彩／キャンバス	92.0 cm x 73.0 cm	○
8		School Days/A	澤田知子	2004	C プリント	108.0 cm x 150.0 cm	○
9		Golden Arch Parkway	照屋勇賢	2014	紙袋、糊	9.0 cm x 15.3 cm x 26.5 cm	○
10		ワン・ダラー	柳幸典	2014	蟻、着色した砂、プラスチック・ボックス	45.0 cm x 105.0 cm x 2.2 cm	

※タグチ現代芸術基金が所有する作品。

片品中学校　11月25日（木）

スケジュール

08:30　作品トラック到着（酒井梱包運輸）
　|　　到着次第搬入、設営開始
10:30　設営完了
　|　　終わり次第打ち合わせ
11:30
11:40　鑑賞時間　各学年 50 分ずつ
　|　　3 時間目　11:40~12:30　3 年生
　　昼休み　　12:30~13:25
　　4 時間目　13:25~14:15　1 年生、保護者 (3 年)
　　5 時間目　14:25~15:15　2 年生
15:15
15:15
　|　　一般の方々鑑賞
16:00
16:00　作品撤収　展示解体
　|　　この日は片品中学校の校長室に作品を保管
17:30　1 日目終了

! 展示会場と作品保管場所は鍵のかけられる場所

鑑賞時間

① 挨拶 (5 分)　注意事項も忘れず (ちょっと離れてみてね、ゆっくりね、など)
② 自由鑑賞 (10 ～15 分)
　各作品の前にてそれぞれ軽くおしゃべり、基本的には自由に見てもらう
③ 一度集まって感想を聞く (5 分)
④ 感想の中から、気になった 2 作品を対話と解説 (15 分)
　1 作品目　軽くどんなことを思ったか聞く 1~2 分 (小田川)
　　解説 7 分 (塩原さん / 美和さん)
　2 作品目　軽くどんなことを思ったか聞く 1~2 分 (小田川)
　　解説 7 分 (塩原さん / 美和さん)
⑤ 残り自由鑑賞 (10 ～15 分)　ワークシートと作品一覧を配布
⑥ さっと集まって終了 (1 分)

教室にて感想をそれぞれ書いてもらう（絵や言葉何でも書ける自由筆記形式）

タグチアートコレクションデリバリー展 in 片品中学校

2021 年 11 月 25 日（木）11:40 ～ 15:15

[主催] 片品村教育委員会　[協力] タグチアートコレクション / タグチ現代芸術基金

みんなが気になった作品はどんなタイトルだった？
どんな人が作ったのかな？ 何でできているのかな？
自分で調べてみると、新しい発見があるかも！？
思ったことや感じたことを自由に書き出してみよう！

作品一覧

《 タイトル 》アーティスト、制作年、素材

《 無題 5月３１日 》
キース・ヘリング
1989　アクリル / キャンバス

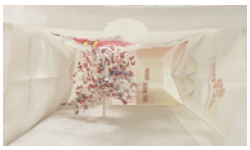
《 Dead Leaves & the Dirty Ground Ⅱ 》
リチャード・モス
2011　写真

《 リバー１ 》
丸山 直文（まるやま なおふみ）
2003　アクリル / 綿布

《 School Days/A 》
澤田 知子（さわだ ともこ）
2004　写真

《 告知 - 森（ティファニー）》
照屋 勇賢（てるや ゆうけん）
2009　紙袋、接着剤

《 Super Rat 》
チン↑ポム
2011　ビデオ 2 分 28 秒



《 Golden Arch Parkway 》
照屋 勇賢（てるや ゆうけん）
2014　紙袋、糊

《 ワン・ダラー 》
柳 幸典（やなぎ ゆきのり）
2014　アリ、着色した砂、
プラスチック・ボックス

《 Untitled (Priceless Arse) 》
ヤクブ・ジュリアン・ジオルコフスキ
2010　油彩 / キャンバス

《 モナ・リザ（レオナルド・ダ・ヴィンチ）
（「Verso(裏面) シリーズより」）》
ヴィック・ムニーズ
2010　ミクストメディア

現代アート作品鑑賞会

令和3年11月25日（木）

氏名

作品No.（　　）

[私の鑑賞ポイント！] この作品のどんなところに魅かれましたか？自分が感じたこと思ったことを、誰かへ説明するように自由に書いてみましょう。（イラストなどを使って伝えるのもOKです。）	作品名
	作者名
	素材・技法
	メモ（気づいたことや疑問など）

作品No.（　　）

[私の鑑賞ポイント！] この作品のどんなところに魅かれましたか？自分が感じたこと思ったことを、誰かへ説明するように自由に書いてみましょう。（イラストなどを使って伝えるのもOKです。）	作品名
	作者名
	素材・技法
	メモ（気づいたことや疑問など）

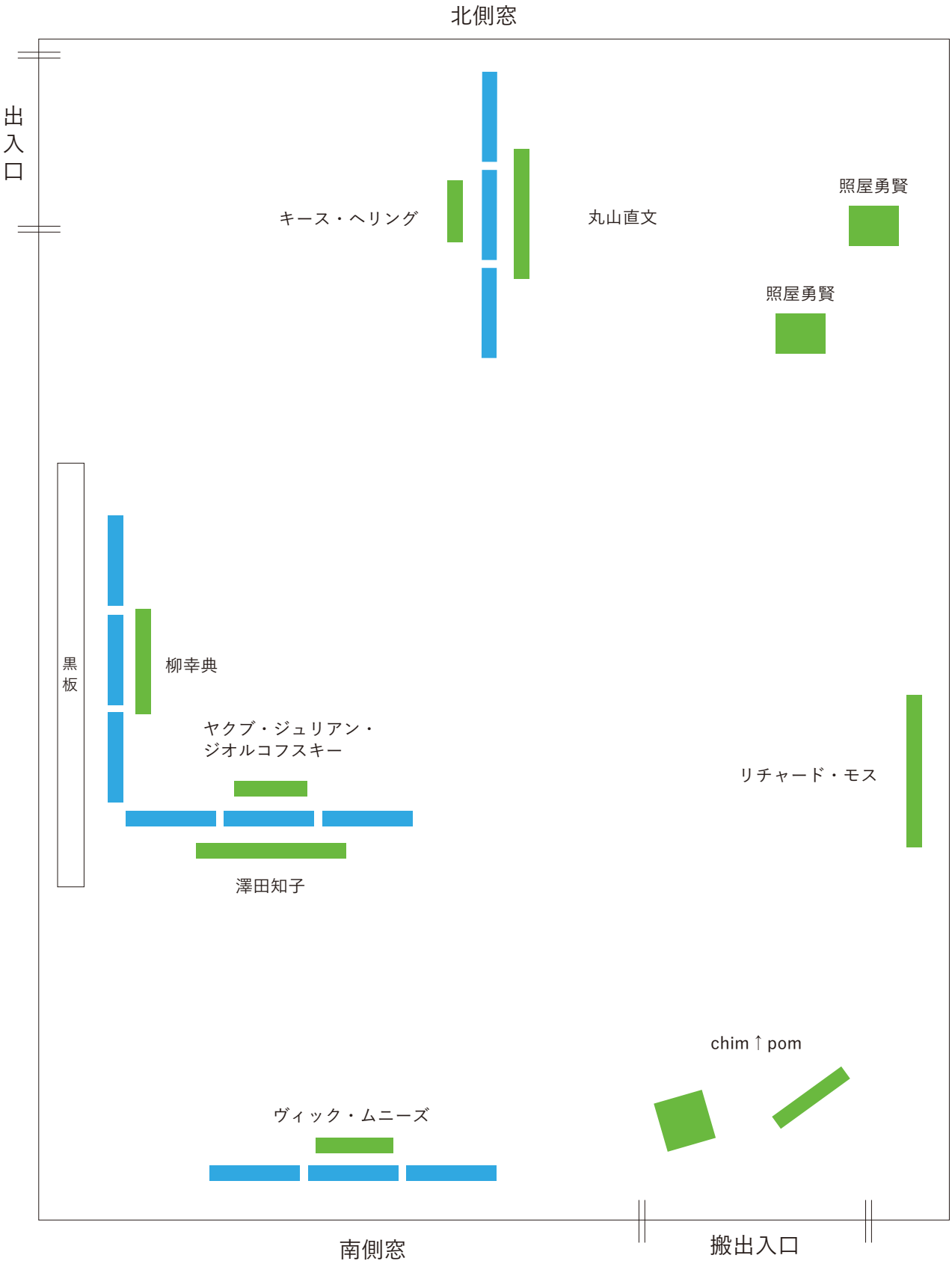
感想（ 本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど ）

片品中学校　会場レイアウト

11 月 25 日　片品中学校会場レイアウト

9.1m x 11.8m

90
仮設壁 x 12　　作品



片品小学校　11月26日（金）

スケジュール

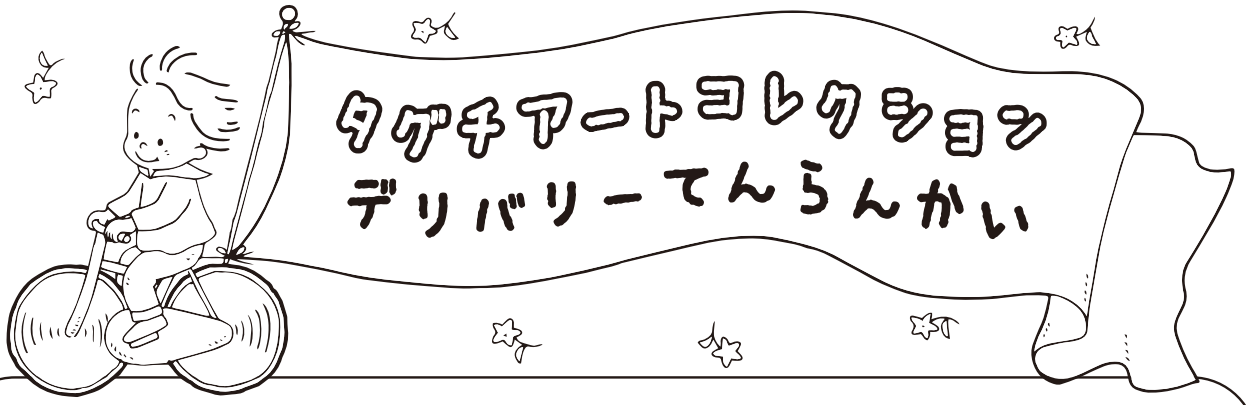
08:30　小学校作品トラック到着
　｜　到着次第搬入、設営開始
10:30　設営完了
10:45　鑑賞時間　各学年 20 分ずつ
　｜　3 時間目　10:45~11:05　5 年（24 名）
　　11:05~11:25　6 年（31 名）
　　4 時間目　11:35~11:55　3 年（24 名）
　　11:55~12:15　4 年（30 名）
　　昼休み　12:15~13:40
　　5 時間目　13:50~14:10　1 年（17 名）
　　14:10~14:30　2 年（22 名）
14:30
15:00　作品撤収　展示解体
　｜
16:00　作品トラックへ積み込み
2 日目終了

！
展示会場と作品保管場所は
鍵のかけられる場所

鑑賞時間

① 集まって挨拶（2 分）
　注意事項も忘れず（ちょっと離れてみてね、ゆっくりね、など）
② 自由鑑賞 / 各作品場所にて説明（10 ～ 12 分）
　各作品の前にてそれぞれおしゃべり
③ 集まって一言二言感想を聞き、1~2 作品を簡単に説明（5 ～ 6 分）
④ 最後にもう一度さっと集まって終了（1 分）

教室にて感想をそれぞれ書いてもらう（絵や言葉何でも書ける自由筆記形式）



作品リスト

みんながきになった作品はどんなタイトルだった？
どんな人が作ったのかな？ 何でできているのかな？
自分でしらべてみると、新しい発見があるかも！

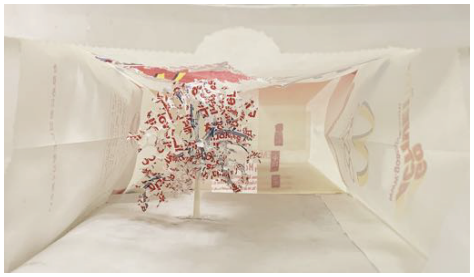
写真

《 タイトル 》
アーティスト
制作年　そざい

《 無題 5月31日 》
キース・ヘリング
1989 アクリル / キャンバス

《 リバー 1 》
丸山 直文
2003 アクリル / 綿布

《 告知 - 森（ティファニー）》
照屋 勇賢
2009 紙袋、接着剤



《 Golden Arch Parkway 》
照屋 勇賢
2014 紙袋、糊

片品小学校　作品一覧

デッド リーブス アンド ダーティ グラウンド 2
《 Dead Leaves & the Dirty Ground Ⅱ 》
リチャード・モス
2011　写真

スーパーラット
《 Super Rat 》
チン↑ポム
2011　ビデオ 2 分 28 秒

スクールデイズ / エー
《 School Days/A 》
澤田 知子
2004　写真

アンタイトルド (プライスレス アース)
《 Untitled (Priceless Arse) 》
ヤクブ・ジュリアン・ジオルコフスキ
2010　油彩 / キャンバス

《 モナ・リザ（レオナルド・ダ・ヴィンチ）
（「Verso(裏面) シリーズより」）》
ヴィック・ムニーズ
2010　ミクストメディア

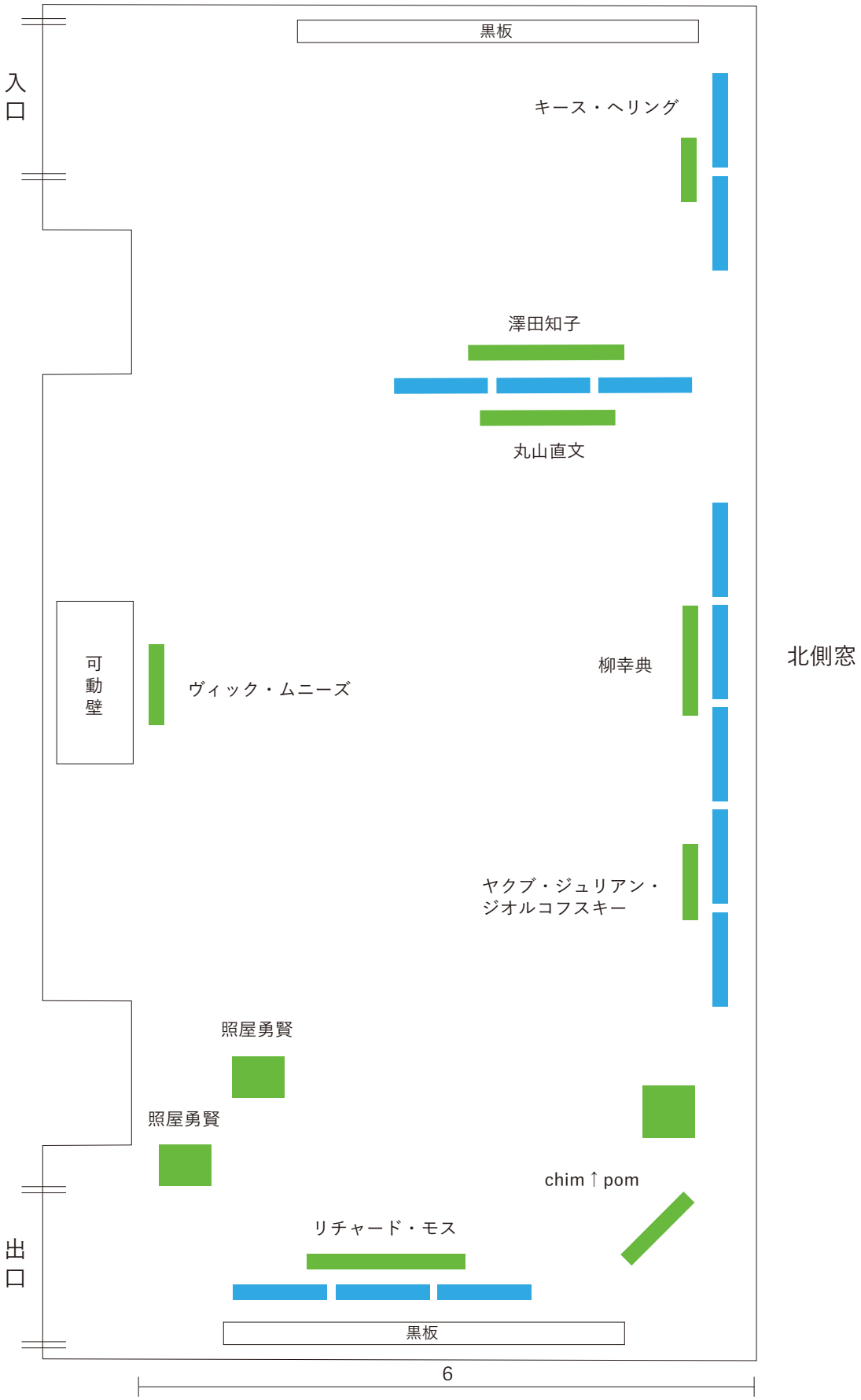
《 ワン・ダラー 》
柳 幸典
2014
アリ、着色した砂、プラスチック・ボックス

片品小学校　会場レイアウト

11 月 26 日　片品小学校会場レイアウト

6m x 13m

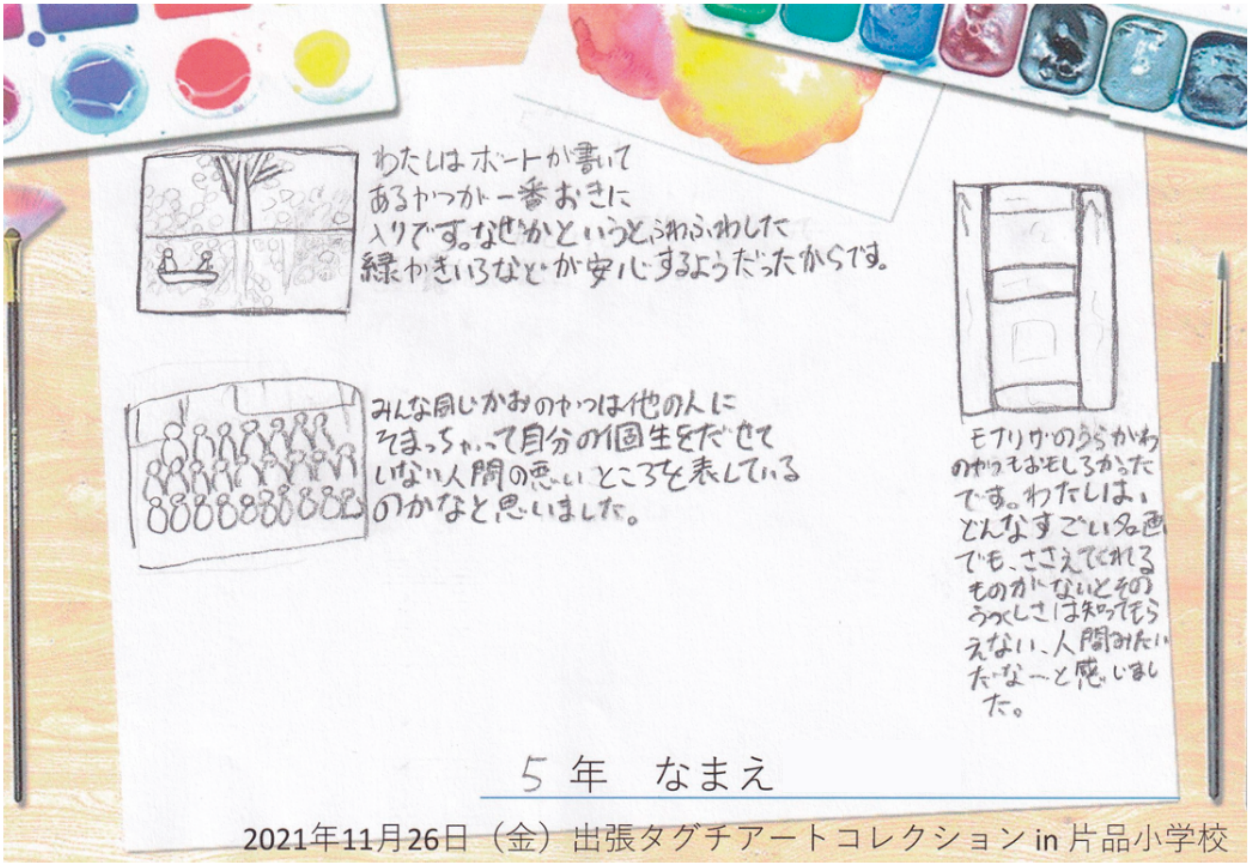
90
仮設壁 x 12　　作品



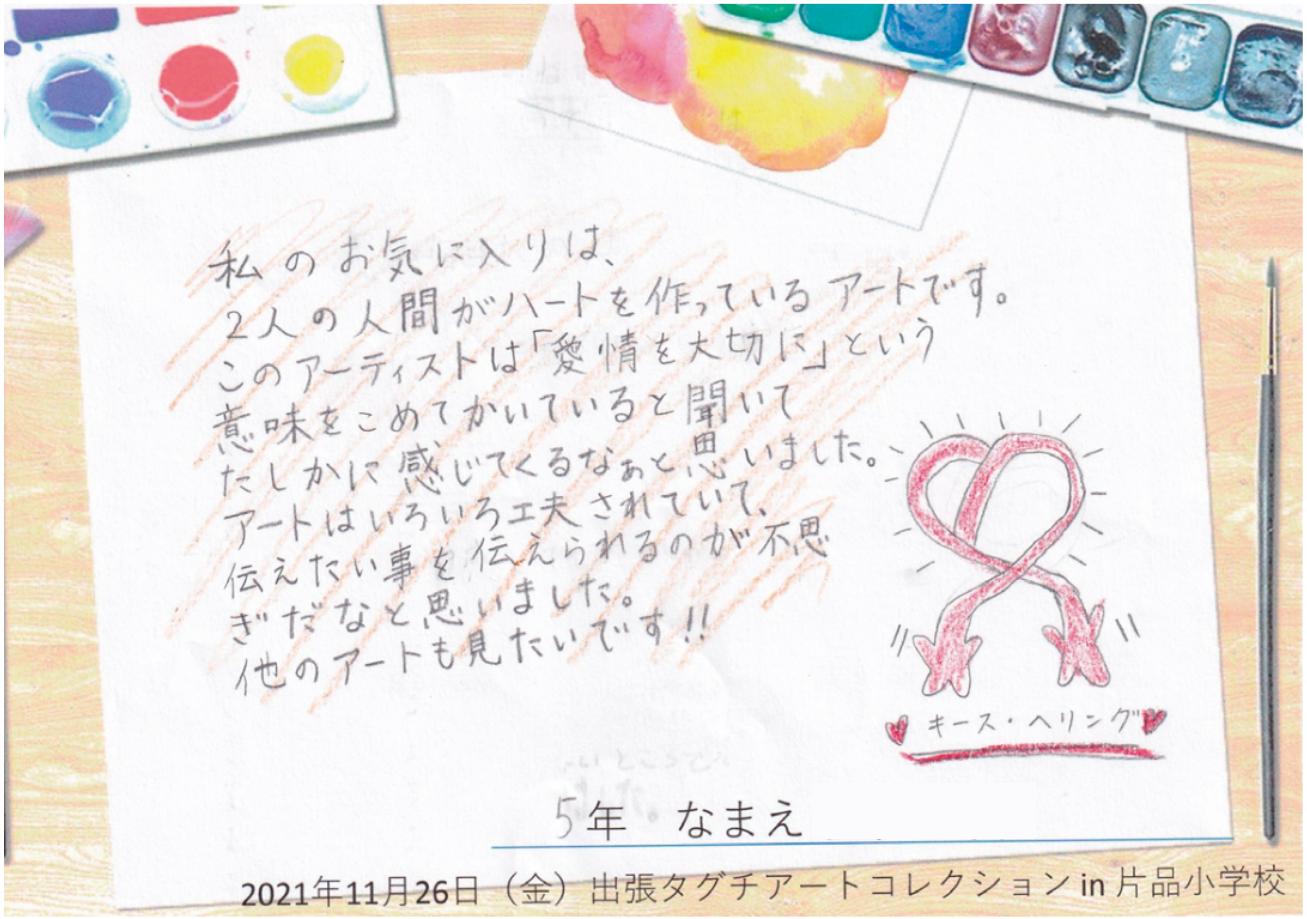
06 実施風景　片品中学校

実施風景　片品小学校

07 子供たちの感想



2021年11月26日（金）出張タグチアートコレクション in 片品小学校



2021年11月26日（金）出張タグチアートコレクション in 片品小学校

私は、モナリザの後ろの絵に目をうばわれました。絵の後ろなんか1度もきにしたことはありませんでした。でもその人の"後ろも絵になる"っていう感じの考えがすごかったです。それとそこにいたお姉さんがみーがした質にほとんどこたえてくれてすごくうれしかったです!!(いっぱい質問してすいません汗)
あと、写真で見たときのもうそうより全然ちがくてすごくびっくりしました。

もう1つは、マックのふくろのアートもすごかったです。はじめに写真で見たときは中しか見えなかったし、絵にしか見えなかったので本物を見たときは絵じゃないの?しかもマックのふくろなのー!ってめっちゃびっくりしました。スタッフさんに聞けなかったけど"なぜマックのふくろなのか?作者は何を伝えたかったのか?どんな意味があるのか?"すごく不思議に思いました。

もう1つだけあります。もう1つは、ハートの作品です。あれをかいた人はエイズで死んでしまった。32年間しか生きてない、と思うとすごくショックでした。でもさいごにこんなすばらしい作品ができるなんてすごすぎます!

今日は、ありがとうございました!☺

5年　なまえ

2021年11月26日（金）出張タグチアートコレクションin片品小学校

独創的だった。
面白かった。
本物を見ると、写真で見るより工夫がほどこされていて、アーティストさんの考えも分かるので、こういう機会は大切だと思った。

6年　なまえ

2021年11月26日（金）出張タグチアートコレクションin片品小学校

感想（本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど）

アートとは作者の想いを伝える1種のメッセージと
わかった。本で伝える人、テレビで伝える人、写真と文字で
伝える人、たくさんの伝える人のうちの1つだと思った。
それが素直に受けとれるものと悩まされるものがある。
だからこそアート、つまり芸術とはずっとひきつがれて
現代のものとして残されていると思った。

感想（本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど）

前から美術作品を見たりすることに興味がありました。
実物を見てみておどろいたことは1つ1つの作品にはストーリーがあるということです。
作者がその作品から伝えたいことなどがあると知りました。
1人1人が1つの作品を見て思うことはもちろん違うので友達と意見を
共有できてよかったです。
美術館に行ってみたいです。

感想（本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど）

あまりアートを見たことなかったけど、今回アートをみてみて
どの作品にも「なぜ作ったのか」があり、どの作品も
それぞれ見方がありおもしろかったです。そして、見る人によって
その作品がどういう物なのかの考え方が変わるところが
美術のおもしろさだと気づきました。今回アートを見て、
美術作品にとても興味を持ちました。機会があったら
アートを見に行きたいです。

感想（本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど）

1つ1つの作品が深い所までしぼられていて
でもその中で一番を決めることはできない
と思いました

感想（本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど）

今回，本物のアートを見て，アートというのはとても奥が深いなと思いました。写真で見ていた時は，正直何が何なのかはわかりませんでした。しかし，実際に実物を見ると，作者が伝えようとしているものがたった一枚の絵や一つの作品から伝わってきました。モナ・リザの絵の裏を再現した作品は，まず私に，裏を作ろう，見てみようという発想はないので凄いなと思いました。そして，皆に見られてほめられるのは表だけど，それは，支えてくれる裏があってだなと思いました。また，ドル札の作品はアリによって作られていて，それの意味を聞いた時とっても納得しました。少し前に国語でやった「フロン規制の物語」というお話に似ているなと思いました。このように，アートというのはただきれいな作品，おもしろい作品というだけでなく，1つ1つにメッセージが込められていて，それを知れば知るほど，その作品がその人にとってより良い作品となっていくんだなと思いました。とても貴重な経験でした。

感想（本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど）

絵や動画，作品を通して，考え方や絵が描かれた背景が分かるのがすごく面白いと思いました。私は2つ好きなのがあります。1つはモナ・リザの裏側です。線やサビ，模様，どスまでもが細かく作られていて，すごいと思いました。裏側を作るという発想がすごいと思いました。2つ目はお金のやつです。あの絵から「ユダヤ人の迫害」や「自分の境遇」「戦争」につながると聞き驚きました。絵の背景や伝えたいことを読み取れると，1回目見た時と見え方が変わって面白いなと思いました。楽しかったです。

感想（本物の現代アート作品を実際に見て、今日感じたことなど）

初めてこれらの作品を写真で見たとき，友達と意見を言い合いながら見たとき，作品の説明を受けてから見たとき，どれも作品に対して違った感想をもちました。1番印象に残った作品は「無題 5月31日」です。始めは，ポップでかわいらしい絵だなと思いましたが，作者の思いを知ってから絵を見ると，「人と人の心のつながりは，大切で貴重なもの」ということが表現されているんだなと気付きました。また，モナ・リザの裏面を再現した作品は，発想がすごくおもしろいなと思いました。実際にモナ・リザの絵画を見にいきたくなりました。ただ作品を見るのではなく，実際に見て，作品の背景や作者の思いなどを知ることが大切だなと改めて思いました。他の「なぜ紙袋で木を作ったのか？」「なぜおれをアリに食べさせたのか？」と不思議に思ったことがたくさんあるので，自分で調べてみたいです。　ネズミの作品は，少し理解し難かったです…。

タグチアートコレクション
デリバリー展 in 片品　実施報告書

【発行日】 2021 年 12 月 2 日（木）
【編集・発行】 一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所
【協力】 片品村教育委員会
タグチアートコレクション
タグチ現代芸術基金
アート・オフィス・シオバラ
片品村立片品小学校・中学校

TAGUCHI ART COLLECTION

タグチ現代芸術基金
Taguchi Art Foundation

【お問い合わせ】
一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町 12-35 モンキーテラス 2C
Mail：artsplus.office@gmail.com